

第27回参議院議員通常選挙にむけた

医療、社会保障等についての政見アンケート

奈良県保険医協会では、来る参議院選挙で奈良選挙区に立候補を表明した方へ政見を問うアンケートを行いました。趣旨と結果をお知らせします。

1. 趣 旨

給付抑制と負担増が推し進められた医療や社会保障において、度重なる制度変更のもと、医療・介護などの現場での困難が続いています。少子高齢化が進行する日本にあって、財政問題ともかかわって医療をはじめ社会保障の行く末や制度の問題はつねにきわめて重要な国政の課題です。当会会内でも、現在の医療や福祉、社会保障のあり方について議論を重ね、政府や関係方面へ要望などを行っているところです。

そこで、保険医の立場から、社会保障としての医療、税制など、また今後の日本の行く末を考えるうえで重要な課題について、これからの国政を左右する各氏の考えをこの機会に聞き、当会と当会会員・関係者の参考とします。

とりあげている諸課題が、当面する選挙で積極的に論じられることを願っています。アンケートは、その一助となることも念じて実施しました。

2. 実施要項

このアンケートは、当面する参議院選挙に向けて公示前に実施しました。

- (1) 質問項目：別項のとおり。
- (2) 回答方法：郵送、Fax、eメールなどで返送を求めました。
- (3) 回答期限：選択回答部分(質問1～10)を6月23日(月)、自

由記述部分(質問11～12)は7月2日(水)までとしました。

- (4) 結果：別項の通りでした。なお、本紙には選択回答部分の結果のみを掲載しています。すべての回答(結果)は、当会のホームページに掲載します。



—発行所—
奈良県保険医協会
〒630-8013
奈良市三条大路2-1-10
TEL (0742)33-2553
FAX (0742)34-9644
<http://www.nara-hokeni.jp/>
発行人 竹島 廣 憲
年額 4,500円/月400円 送料共
印刷 きかんしコム

※期日に遅れて回答があった場合も、ホームページに追加掲載します。

設 問	立候補予定者（敬称略）	太田あつし（日本共産党）	川崎智之（NHK党）	川戸康嗣（立憲民主党）	黒川洋司（参政党）	杉本葵（国民民主党）	平将生（日本維新の会）	堀井巖（自由民主党）
質問1 マイナンバーカードを健康保険証代わりに使用する「マイナ保険証」への一本化（保険証の廃止）が、昨年実施されました。しかし、受付でのトラブルは解消せず、利用率は低迷し直近の公表分（4月）でも28%台にとどまります。国民の不安や医療機関窓口の混乱を防ぐため、従来の保険証を復活させることについてどうお考えですか。	賛成 反対 その他	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成 反対 その他	賛成	賛成
質問2 高齢化・医療の進歩等に伴い医療・介護など社会保障費は、制度が現状のままで増大します（いわゆる「自然増」）。昨今はその上に物価高騰での費用増が加わっています。これらの費用増は必要な経費ですが、国の予算編成では抑制を図る方針のため、給付削減か負担増の制度改定が繰り返されています。この社会保障費「自然増」の抑制をやめることについてどうお考えですか。	賛成 反対 その他	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成 反対 その他	賛成	賛成
質問3 国は今年の予算案で高額療養費制度の負担上限額の引き上げを計画していましたが、患者や医療者をはじめとする国民の声に押されて、凍結しました。今秋以降に検討するとしており復活に含みをもたせています。しかし、当事者にはすでに負担は重く、むしろ上限額引き下げこそ検討すべきところです。高額療養費制度の負担上限額引き上げを撤回することについてどうお考えですか。	賛成 反対 その他	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成 反対 その他	賛成	賛成

立候補予定者（敬称略） 設 問	太田あつし （日本共産党）	川崎智之 （N H K 党）	川戸康嗣 （立憲民主党）	黒川洋司 （参政党）	杉本葵 （国民民主党）	平将生 （日本維新の会）	堀井巖 （自由民主党）
	賛成 反対 その他	賛成 反対 その他	賛成 反対 その他	賛成 反対 その他	賛成 反対 その他	賛成 反対 その他	賛成 反対 その他
	賛成 反対 その他	期限までに回答がありませんでした	賛成 反対 その他	期限までに回答がありませんでした	賛成 反対 その他	期限までに回答がありませんでした	期限までに回答がありませんでした
	賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		
	賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		
	賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		
	賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		賛成 反対 その他		
質問4 奈良県では全市町村が18歳までの子ども医療費助成制度を実施しています。他府県の自治体も多数が同様の制度を実施しています。国の制度として子どもの窓口負担を無料化することについてどうお考えですか。							
質問5 診療報酬は医療従事者の報酬のみならず、患者さんが受ける保険診療の内容や質を規定します。しかし、長い間、低く抑えられてきました。その上に物価高騰で医療現場は塗炭の苦境に直面しています。病院の60%以上が赤字経営との調査結果もあります。医療従事者の賃上げのためにも大幅な引き上げが不可欠です。診療報酬の大幅引き上げについてどうお考えですか。							
質問6 消費税10%の負担は国民生活にも景気にも、今日、重い負担です。日本経済の再生のためにも、その軽減が強く望まれます。何らかの消費税の税率引き下げ、あるいは消費税廃止についてどうお考えですか。							
質問7 保険医療機関ではかねてより消費税のいわゆる「損税」負担（控除対象外消費税）が問題です。その解決のため保険医療への消費税に「ゼロ税率」を適用することについてどうお考えですか。							
質問8 福島原発事故以降、その危険性が多くの国民の共通認識となった原発は、再稼働・新增設および老朽原発の延命使用をやめて「原発ゼロ」の実現へすすむことについてどうお考えですか。							
質問9 核兵器を非合法化し、廃絶と被爆者援護を掲げる「核兵器禁止条約」に日本は参加していません。核兵器禁止条約の批准、少なくともオブザーバ参加することについてどうお考えですか。							
質問10 近年、防衛費の大幅増がつづき、政府予算の事実上の聖域となっています。敵基地攻撃能力の整備など戦争準備の軍拡が、社会保障をはじめ教育・科学・農林水産・中小企業振興等の予算抑制の原因でもあります。膨張し続ける軍事費の拡大をやめることについてどうお考えですか。							

※氏名50音順で掲載しました。

自由な記述回答として次を問いました。この回答は当会のホームページに掲載しています。
「上記の各質問（1～10）の回答への補足や、特に主張したい政見について、ありましたら自由に記述してください」。記述回答は、回答有無も含めて任意とし、様式も定めていません。



※奈良県保険医協会は来る参議院選挙において、いずれの立候補者および政党・党派も、団体としては推薦も支援もいたしません。選挙においては中立で、これは従来からの立場です。
なお、当会会員個人の政治活動は当然に自由であり、団体の立場とは峻別しています。本アンケートの依頼に際しても明示しました。

選挙間近の多忙なところ、ご協力いただいた関係者に厚く御礼を申し上げます。